



第1回サマースクール



三重県難病相談支援センターでは、8月の夏休みの時期に、看護師や理学療法士など、医療関係の職を目指す学生の皆さんを対象としたサマースクールを実施いたしました。これは、学生の皆さんに難病への理解を深めていただくとともに、実際に患者さんと交流をして、患者さんからの意見を聞くことをメインにしました。今回が初めての企画です。

今年度は難病の中でも患者数の多いパーキンソン病に焦点を当てて、制度や病気についての講義、患者さんとの交流会を行いました。



パーキンソンみえ

日時：平成 24 年 8 月 4 日(土)
13:30～16:30

場所：三重県津庁舎 6階 大会議室

内容：

- 難病に関する制度について
三重県健康づくり課
- パーキンソン病について
三重大学医学部看護学科教授
三重大学医学部付属病院神経内
科
三重県難病医療連絡協議会会長
成田有吾先生
- 患者との交流会

当日は県内9つの学校から128名もの学生さんと、19名の患者の方々にお集まりいただき、会場はいっぱいになりました。ボランティアの方にもお手伝いいただき、第1回のサマースクールは、盛況のうちに終えることができました。

◆アンケートより抜粋◆

●難病に関する制度について

- ・教科書に載っていること以外の内容も学ぶことができてよかった。
- ・難病に関する制度の存在は知っていたが、深くまでしらなかったため、ためになった。
- ・こんなにたくさんの難病があるとは思わず、びっくりした。色々な支援、事業とともに、難病に関して学ばなければならないと感じた。
- ・看護師も知っていなければならない知



識だと思った。

- 授業では簡単に習っただけなので、知れてよかった。

●パーキンソン病について

- 今はまだ患者さんと接したことはないが、これから接する時は、今回学んだことを思い出しながら接していきたい。
- 私が本を読み、考えていたパーキンソン病と、講義を聞かせていただいた内容とは少し異なり、私自身勉強不足だと思いました。
- 講義でパーキンソン病の症状や、薬の重要性がよく分かりました。
- 動画や画像もたくさんあり、実際の患者さんの様子も学ぶことができてよかった。
- 教科書だけの知識に比べ、より現実的な内容を聞けて、今までの知識にプラスアルファで学べた。とても分かりやすかった。
- 病気についてあまり理解していなかったため、今回のサマースクールはよい機会となった。
- 症状の特徴と間違えやすい症状を分かりやすく説明してもらえてよかった。患者とのコミュニケーションの取り方について考えていきたいと思った。

●患者との交流会

- 実体験や患者さんの気持ちなどをきかせてもらって、すごくためになった。
- 直接話を聞くことによって、パーキンソン病は自分が考えているより大変な病気であることを、とても感じました。
- 貴重なお話が聞けてよかった。患者さんの医療者への希望、不満、本にない情報など知れてよかった。
- 病名を周りの人に言いづらい人が多いようで、コミュニケーションをもっと取りたいのだなと分かりました。
- 患者さんにとって患者会が心の支えになっていることがよく分かった。
- 実際の患者とその家族が、どのように病気と関わっているかが分かって、よい経験になった。
- 患者さんの生の声を聞くことができてよかった。実際の生活で使用しているアイデアなど、すごく参考になった。
- 診察の時、医師と看護師から「早く」というような目で見られるのがストレスになるとおっしゃっていた。「ゆっくりでいいですよ」と、患者さんの気持ちが分かるような看護師になりたいと思った。
- 患者さんの目線で話を聞くことで、新しい目線で考えることができた。



アンケートでは、これまでに難病患者と接したことのある学生さんは25%と少なかったのですが、講義や交流会を通して、理解を深め、また更に学んでいただくための良いきっかけになったのではと思います。

「またサマースクールに参加したいと意思しますか？」という設問では、90%の学生さんが「参加したい」と回答され、良い経験になった、当事者との交流をもっとしたいなどのコメントを多数いただきました。

このサマースクールは、来年度以降もテーマを変えて実施していきたいと考えています。

スプリングスクール



三重県難病相談支援センターでは、平成24年8月に実施したサマースクールに引き続き、スプリングスクールを開催いたしました。

これは、看護師や理学療法士など、医療関係の職を目指す学生の皆さんを対象とし、難病への理解を深めていただくとともに、実際に患者の皆さんと交流を持ってもらうことで、色々なことを感じ、学びとっていただくという企画です。

今回は膠原病の中の強皮症についてのスクールを行いました。

日時:平成25年3月17日(日)

13:30~16:30

場所:三重県津庁舎 6階 大会議室

内容:難病に関する制度について

三重県健康福祉部健康づくり課

強皮症について

四日市社会保険病院

主任内科部長 佐藤良子先生

患者との交流会

全国膠原病友の会三重県支部の皆さん



今回は学生9名(ボランティア含む)、患者会会員15名の参加をいただきました。

少人数ではありましたが、密度の濃い、充実したスクールとなりました。

◆アンケートより抜粋◆

- 患者様本人の本当の気持ちを聞くことができたので、自分が医療者としてどう関わっていかうか考える機会となりました。
- 今まであまり勉強してこなかった難病のことだったので、このように詳しく勉強ができてよかったです。
- 強皮症については教科書で読んだ程度だったが、とても分かりやすかった。実際の症例など見せてもらえて、患者さんの病気の受け入れの問題などもなるほどと思った。
- 看護をするにあたって、難病の支援制度を理解しておかなければならないと分かった。制度はよく変わるので、アンテナを立てておく必要があると思った。
- 人により症状が違うとお聞きし、色々とお話を聞いて、学校の授業では分らない事を知ることができてよかったです。
- なかなかこのような機会はないので、いい経験になりました。



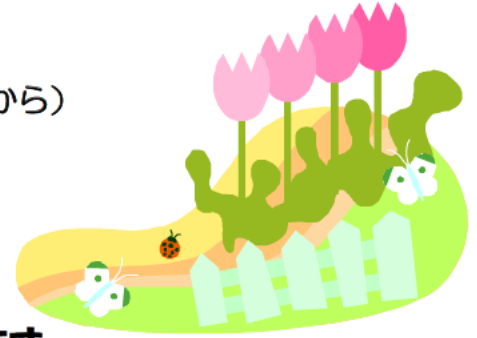
地域難病相談会

三重県難病相談支援センターは難病の方々の地域交流活動の推進や就労支援等の活動をしており、その一環として県内を年5箇所巡回して「地域難病相談会」を行っています。

25年度は下記の5箇所を予定しております。お近くにお住まいの方は、この機会にぜひご参加下さい。

時間 13:30～15:00 (受付は13:00から)

対象 一般、難病患者及び家族、保健福祉関係者



参加費 無料、事前申し込み不要でご参加いただけます

日時	場所
6月16日(日)	松阪地域難病相談会 三重県松阪庁舎
7月21日(日)	桑名地域難病相談会 くわなメディアライヴ
9月29日(日)	津地域難病相談会 三重県津庁舎
10月27日(日)	鈴鹿地域難病相談会 三重県鈴鹿庁舎
11月24日(日)	尾鷲地域難病相談会 三重県尾鷲庁舎

※都合により内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。



お問い合わせ先 : 三重県難病相談支援センター
津市桜橋3丁目446-34
TEL 059-223-5035
FAX 059-223-5064

主催 : 三重県
NPO 法人三重難病連



